

KYOTO CITY

今こそ
「文活」

生活の中に「文化」を



京都市長 門川 大作

今、日本中で「働き方改革」が叫ばれています。
京都市が目指す、働き方改革は、「生き方」そのものを見つめ直し、日本の伝統的な考え方である「人間を大切に」「生活の中に文化を」「地域の絆の再認識」といった、人間らしい生き方に立ち戻ることではないかと考えています。

茶道などの暮らしの中に息づく生活文化をたしなむ。
これらを通じて得た知識、経験により生きがいと充実感を得、それが人間力を高めることにつながる。
そのまちに暮らす一人一人がお互いに人間力を磨きをかけ合うことこそ、その都市、そのまちの魅力を二層高める、その都市、そのまちの未来を切り拓き、日本を元気にすると考えています。



文化庁が京都に移転。地域文化創生本部が発足しました。

文化庁の京都への全面的な移転が決定し、平成29年4月、京都に文化庁の組織として地域文化創生本部が設置されました。

文化庁の京都移転は、東京一極集中の是正を目指す地方創生の突破口となるとともに、日本文化の活性化が期待されます。

京都では、文化財をしっかりと保存しつつ、伝統を継承し、「観光」や「景観」などの関連施策と融合させ、活用していく取り組みを推進しています。

こうした取り組みと連携して、「文化の力」でそれぞれの地域を、地場産業を、日本を活性化する、文化による日本創生が大切です。